

看護部

4階南病棟

4南病棟は「脳卒中センター」として、脳梗塞・脳出血を中心とした脳疾患の患者の病床（20床）に加え、脳卒中科・脳外科・脊椎センター外来・脳血管造影室・CT室の介助（造影剤の注入前後の観察）を担っています。病棟20床・外来部門を看護1単位で担当しセンター化として運営しています。平成27年度は新人看護師4名を迎え、看護師22名、エイド2名、事務1名の計25名で開始となりました。「現場の看護力（専門性）を高める」「教育体制の強化」「各自が部署での役割を認識し行動できる」「職員のやりがい感を高める」を病棟目標にして看護の提供を行ってきました。平均在日日数5.6日。急性期脳梗塞の患者に対し、7～10日間でリハビリ病院への転院が可能となっている中で看護師として、2次合併症（誤嚥性肺炎・褥瘡）を発生させないことを徹底し、統一した看護の提供により、平成27年度も褥瘡発生がなく経過をしました。新卒者4名に対してはプリセプターを中心とした教育プログラムを病棟全体で取り組み、新卒が1名もリタイヤせず、平成28年度を迎える事ができました。スタッフ育成にも力を入れ、勉強会係を中心に数ヶ月毎にスタッフからの意見を取り入れ勉強会を企画・運営し、勉強会を行いました。全スタッフ1回は院外の研修に参加できる様に、勤務調整を行い本人の意識を高める様な研修に参加するなどを心がけ、患者の為にスタッフ1名1名がスキルアップを意識して、4南病棟「脳卒中センター」の看護の質の向上に向け取り組みました。平成27年度は脳卒中セミナーにて1題発表を行いました。来年度も日々の看護業務に関係あるテーマで、看護研究に取り組み業務改善に繋げていきたいと考えています。そして「看護の質の向上」を念頭に病棟運営・スタッフ教育を行って行きたいです。